

■2026（令和8）年度 博士前期課程入試

試験日程及び試験科目

○日本画領域

試験日	令和8年2月1日（日）	
時間	10:00～14:00（3時間）	14:00～
試験内容及び方法	デッサン（裸婦） ※持参すべき試験用具 鉛筆デッサン用具一式 ※イーゼル、カルトン、試験用紙（白象紙）は配付します。	作品審査及び面接 ■提出すべき作品等について ① 作品：6ヶ月以内に制作した未発表の日本画50号2点 ※作品は平面作品でイーゼルに展示できるものに限りま す。 ※提出作品貼付用紙は作品裏右上に貼ること。 ② 写真資料1冊（過去4年以内の作品・デッサンの写真を A4サイズファイル1冊に入れる。）
■作品等の搬入について		
【提出場所】 日本画アトリエ 【搬入日及び時間】 令和8年1月31日（土）13:00～16:00までに「■提出すべき作品等について①、②」の提出及び設置を完了すること。 【搬入方法】 受験者本人が行うこと。 【搬出日及び時間】 令和8年2月1日（日）面接試験終了後～17:00まで 【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合 (1)1月31日（土）当日のみ、15:00までに必着とし、運送業者からの受け取りは、必ず本人が行うこと。 (2)届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学日本画）及び出願者氏名を記入すること。 (3)梱包に【美術研究科博士前期課程 出願作品在中】と朱書で記入すること。 (4)提出場所への搬入手続きは、本人が梱包を解き、行うこと。 (5)作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前におくこと。		

■2026（令和8）年度 博士前期課程入試

○油画・版画領域

試験日	令和8年2月1日（日）
時間	10:00～
試験内容及び方法	<p>作品審査及び面接</p> <p>■提出すべき作品等について</p> <p>① 作品(点数は自由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床面：(幅)400 cm×(奥行)200 cmのスペースに提出すること。 ・平面作品の場合、1点のサイズが270×200cm以内 ・立体、その他の場合、1点のサイズが270×200×200cm以内 (映像作品の場合、再生・投影に必要な機材は各自で準備し、使用説明書を添えて提出すること。) <p>※206×100cmのドアから搬入可能なもの</p> <p>※提出作品貼付用紙を貼る場所は、当日指示します。</p> <p>※原則として提出された状態で審査を行います。</p> <p>② ドローイング等のファイル1冊（ファイルに綴じていないものは受け付けない。）</p> <p>③ ポートフォリオ1冊（過去4年以内の作品及びドローイング等の写真を整理したもの。）</p> <p>※②③とも提出作品貼付用紙はファイルの表紙に貼ること。</p>
■作品等の搬入について	
【提出場所】	油画アトリエ
【搬入日及び時間】	令和8年1月31日（土）10:00～15:30までに受付を済まし、16:00までに「■提出すべき作品等について①～③」の提出を完了すること。
【搬入方法】	<p>受験者本人が行い、指定された場所に提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出時に必要な道具は、受験者各自で用意してください。道具の貸出は一切行っておりません。 ・平面作品は、壁に立てかけて提出することが出来ます。 釘打ちなどを含む試験室内の壁、床、天井への加工、及びテープなどによる壁、床、天井への貼り付けは許可していません。
【搬出日及び時間】	<p>令和8年2月1日（日）全試験終了後～16:30まで</p> <p>令和8年2月2日（月）9:30～12:00まで</p>
【注意事項】	<p>運送業者に搬送を委託する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)1月31日（土）10:00～14:00に必着とし、運送業者からの受け取りは、必ず本人が行うこと。 (2)届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学油画アトリエ）及び出願者氏名を記入すること。 (3)梱包に【美術研究科博士前期課程 出願作品在中】と朱書で記入すること。 (4)提出場所への搬入手続きは、本人が梱包を解き、行うこと。 (5)作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。

○彫刻領域

試験日	令和8年2月1日（日）
時間	10:00～
試験内容及び方法	<p>作品審査及び面接</p> <p>■提出すべき作品等について</p> <p>① 近作1点（各自で責任をもって搬入から搬出を完了できるものとする。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出作品は1トン以内で、3×3×3m以内に展示可能なものとする。 ・映像を用いた作品の再生時間は5分以内とする。再生・投影に必要な機材は各自で準備し、視聴できる状態に設置すること。 <p>② ポートフォリオ</p>
<p>■作品等の搬入について</p> <hr/> <p>【受付場所】 彫刻棟 プロジェクトスペース （受付にて提出場所を指示します。）</p> <p>【搬入日及び時間】 令和8年1月31日（土）10:00～15:00 までに「■提出すべき作品等について①、②」の提出を完了すること。</p> <p>【搬入方法】 受験者本人の責任において行うこと。 ※作品搬入、設置に特別な措置を必要とする場合は、必ず事前に彫刻専攻事務室へ連絡すること。 ※安全衛生管理上、支障のある作品は受理しません。</p> <p>【搬出日及び時間】 令和8年2月1日（日）15:00～18:00 まで</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 運送業者に委託する旨を、作品到着日までに彫刻専攻事務室へ連絡すること。 （彫刻専攻事務室連絡先：sculpture@mail.aichi-fam-u.ac.jp） (2) 1月30日（金）10:00～15:00 に愛知県立芸術大学 彫刻棟に必着とすること。 (3) 届先欄に出願者氏名を記入すること。また、品名欄に「美術研究科博士前期課程 彫刻領域 出願作品」と記入すること。 (4) 梱包に【美術研究科博士前期課程 彫刻領域 出願作品在中】と朱書で記入すること。 (5) 作品の提出及び手続きは、1月31日（土）に本人が梱包を解き、行うこと。 (6) 作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前におくこと。 	

■2026（令和8）年度 博士前期課程入試

○芸術学領域

試験の種別	論文審査		
提出日	令和8年1月6日（火）から9日（金）締切日消印有効 （ただし、日本国外から郵送する場合は、締切日午後5時必着とします。）		
事前提出物	■事前に提出すべき論文について 志望研究分野（「日本美術史」「西洋美術史」「美学」「現代アート論」）に関する論文（卒業論文等）を提出する。論文には2,000字程度の要旨を添付すること。		
【提出先】	愛知県立芸術大学 入試課		
【提出方法】	封筒（A4サイズの入る大きさ）に入れ、「美術研究科博士前期課程 芸術学提出論文」と朱書し、簡易書留速達郵便で郵送すること。		
【注意事項】	令和8年3月本学芸術学専攻卒業見込みの者で、卒業論文が研究科における志望研究分野と一致する者は、論文ならびに要旨を提出しなくてもよい。		
試験の種別	外国語試験、論述試験、面接		
試験日	令和8年2月1日（日）		
時間	10:30～12:00	13:00～14:30	15:00～
試験内容及び方法	外国語試験（英語） 希望者に対して、試験会場で辞書を貸与する。	論述試験 「日本美術史」「西洋美術史」「美学」「現代アート論」のなかから2科目（そのうち一つは必ず志望研究分野の科目）を選択受験する。	面接

●芸術学領域 試験問題

外国語試験(英語)

次の文章を全文和訳しなさい。

【出典】Richard Hobbs, “Reading Artist’s Words,” in *A Companion to Art Theory*, Paul Smith and Carolyn Wilde eds., 2002, Oxford: Brackwell Publishers, pp.173-174.

論述試験(昨年受験があった2科目のみ掲載)

[日本美術史]

次の図版および語群のうちから三つを選択し、それぞれ五～七行程度で説明しなさい。

文章の中で、作者・作品名・形式・素材・制作年代・所蔵先・制作背景・美術史上の位置付け・意義・論点などに触れること。事項の単なる羅列にならないように。誤字脱字は減点する。

- | | |
|-------------|-------------|
| (一) (図版) *1 | (二) (図版) *2 |
| (三) 正倉院 | (四) 秋田蘭画 |
| (五) 高橋由一 | |

*1 図版「長沢蘆雪《虎図襖》」 *2 図版「運慶《興福寺北円堂無著菩薩像》」

[西洋美術史]

次の語群のうちから三つを選択し、それぞれ五～七行程度で説明しなさい。

- | | |
|-------------------|-------------|
| (一) マニエリスム | (二) 後期印象主義 |
| (三) ゴシック美術 | (四) 美術アカデミー |
| (五) イタリア盛期ルネサンス美術 | |

※ 著作権に関わる入試問題の閲覧については、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。
（閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで）

○デザイン領域

試験の種別	第1次選考試験
試験内容及び方法	書類審査（出願時に提出する作品資料ファイル及び出願書類） ■提出すべき資料等について ① 作品資料ファイル <ul style="list-style-type: none"> ・A3サイズで提出枚数は10枚以内で、表面のみ使用。レイアウトや表現形式は自由。 ・提出資料各ページの右肩に通し番号（1～10）を明記し、番号順に一冊にまとめ、左肩（左辺）をホチキス等で確実に留めること。（市販のファイル等には入れない） ・活動記録や作品の表現は写真、カラーコピー、プリント出力、手描き等自由だが、提出資料は返却しないので、実物オリジナル作品の貼付は避けること。 ・提出資料には、タイトル・素材・作品サイズ・制作年などの情報や、必要に応じて補足説明等を付記すること。 ・募集要項に添付されている第1次選考用作品貼付用シール（2枚）に必要事項を記入の上、1枚を「作品資料ファイル（A3サイズ10枚以内・ホチキス等で留め、一冊にまとめたもの）」の最終ページ裏面右肩に貼付すること。 ・すべて本人の活動及び制作物であること。 ② 研究概要と研究計画書 <ul style="list-style-type: none"> ・研究科入学後2年間の研究概要と研究計画を、A4用紙2枚以内に記入して提出すること。
試験の種別	第2次選考試験（第1次選考試験合格者に限る）
試験日	令和8年2月1日（日）
時間	9:30～
試験内容及び方法	作品審査および面接 ■提出すべき作品等について 作品及び資料ファイル <ul style="list-style-type: none"> ・持参する作品（関連資料含む）は、受験者1人で搬入・設置可能なもの。作品数は自由だが、与えられたスペースに納まるようにすること。納まらない作品は審査対象外。 ・映像あるいはデジタルデータ作品は、ビデオ・モニター・パソコン等を各自で準備し、上映できる状態に設置すること。電源コンセントは試験会場内にあるが、モバイルバッテリーの使用が望ましい。
■作品等の搬入について	
<p>【提出場所】 講義棟指定場所</p> <p>【搬入日及び時間】 令和8年1月31日（土）13:00～15:00までに設置を完了すること。</p> <p>【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に設置すること。</p> <p>【搬出日及び時間】 令和8年2月1日（日）全試験終了後～17:00まで</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を依頼する場合 (1)1月31日（土）13:00～14:00の搬入時間内に第1次合否通知書送付時に指定する場所必着とし、運送業者からの受け取りは、必ず本人が行うこと。 (2)届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学デザイン）及び出願者氏名を記入する。 (3)梱包に【美術研究科博士前期課程 出願作品在中】と朱書で記入すること。 (4)作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前に行っておくこと。 注：受験室への作品搬入は本人だけで行うこと。</p> <p>【作品展示】 各受験者が使用できるスペースは下記となります。 床面：（幅）約2000mm×（奥行き）約1000mm 机：（幅）1800mm×（奥行き）600mm×（高さ）700mm <備考> 床面のスペース内に机が用意されています。 机下の床面は使用できません。 作品を展示するためのイーゼルは1人2脚まで持ち込み可とします。（本学からの貸出は行いません。） 1次選考時に提出された作品資料ファイルを試験会場に用意しますので、必要があれば面接時に使用してください。</p>	

■2026（令和8）年度 博士前期課程入試

○陶磁領域

試験日	令和8年2月1日（日）	
時間	10:00～	
試験内容及び方法	<p>作品審査</p> <p>■提出すべき作品等について</p> <p>① 作品3点（セットものは1点とする。）</p> <p>② ポートフォリオ1冊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や活動記録をA4サイズのファイル1冊に整理したもの。 ・ポートフォリオのレイアウトや表現形式は自由。 ・提出資料には、タイトル、作品サイズ、制作年、素材、技法などを明記し、必要に応じて補足説明を付記すること。活動記録については、自身が担当した内容がわかるように補足説明を付記すること。 	<p>作品プレゼンテーション及び口頭試問</p> <p>提出作品とポートフォリオ及び研究計画に関するプレゼンテーションに対して、口頭試問を行う。</p>
■作品等の搬入について		
<p>【提出場所】 陶磁実習棟</p> <p>【搬入日及び時間】 令和8年1月31日（土）14:00～16:00まで</p> <p>【搬入方法】 受験者本人が行い、指定された場所に展示すること。</p> <p>【搬出日及び時間】 令和8年2月1日（日）試験終了後16:00～16:30までに本人が行うこと。</p> <p>【注意事項】 運送業者に搬送を委託する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)1月31日（土）12:00～14:00に必着とし、運送業者からの受け取りは、必ず本人が行うこと。 (2)届先欄に、あて先（愛知県立芸術大学陶磁）及び出願者氏名を記入する。 (3)梱包に【美術研究科博士前期課程 出願作品在中】と朱書で記入のこと。 (4)作品の搬入手続き及び展示は、1月31日（土）に本人が梱包を解き、行うこと。 (5)作品の搬出手続きも、本人の責任において搬出時間内の業者対応を事前しておくこと。 		

■2026（令和8）年度 博士前期課程入試

○メディア映像領域

試験の種別	作品審査
提出日	令和8年1月6日（火）から9日（金）16:00まで
事前提出物	<p>■事前に提出すべき作品資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動や制作物をまとめたものであること。 ・媒体はPDFデータ（100MB以内）で指定の提出先フォームに提出すること。 ・用紙サイズやページ数は自由。 ・映像作品の場合は、サムネイルなどイメージが分かるような画像を提示し、閲覧可能なQRコード及びURLを表記すること。 ・インストール作品は、展示風景の静止画像を提示し、展示風景を撮影した動画が閲覧可能なQRコード及びURLを表記すること。 ・提出資料は、すべて本人の活動及び制作物であること。制作チームで制作した作品の場合は、担当箇所がわかるようにすること。
【提出方法】	受験者に送付する書類を確認すること。
【注意事項】	提出後、令和8年1月15日（木）までに受理した旨の連絡がない場合は、入試課（admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp）までお問い合わせください。
試験の種別	研究計画のプレゼンテーション及び口頭試問
試験日	令和8年2月1日（日）
時間	9:00～
試験内容及び方法	<p>■試験当日に提出すべき研究計画資料の持参について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学後に行う研究計画をまとめたものであること。 ・大学が用意している環境は次の2つです。①50インチモニター（SONY Bravia XRJ-50X90J）1台、②HDMIケーブル1本。この環境でプレゼンテーションができるように、自分のデジタルデバイスを準備すること。なお、上記のモニターから音声出力できません。 ・研究計画に関連するラフスケッチやガジェットのサンプルなどの現物を提示したい場合は、次の2つの条件に限り持参してもよい。①受験者1人で搬入出可能なもの。②与えられた机（幅1500mm×奥行き750mm×高さ700mm）の机の上に置けるもの。 ・試験会場に受験者が使用できるネットワーク環境はありません。
【注意事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「作品審査」のための作品資料を事前に提出していない者は、「研究計画のプレゼンテーション及び口頭試問」を受けることができません。 ・作品や提出資料に生成AIなどを活用した場合は、その該当箇所について明示すること。

■2026（令和8）年度 博士前期課程入試

入 試 情 報

■評価基準

領域	試験科目	評価基準
日 本 画	実技デッサン (裸婦)	描写力、表現力、空間認識力等をみる。
	作品審査	日本画制作の基礎と研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
油画・版画	作品審査	創作表現における研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
彫 刻	作品審査	創作表現における研究テーマ、研究能力、研究意欲を評価する。 (作品審査にかかる面接も含む。)
美 術 学	外国語試験	読解力、ボキャブラリーの知識、翻訳能力をみる。
	論述試験	専門領域に関する基礎知識、問題考察力、論理性をみる。
	論文審査	論文の内容と水準をみる。
	面接	適性、意欲をみる。
デ ザ イン	書類審査 (第1次選考)	デザインの研究テーマ、これまでの活動実績を評価する。
	作品審査 (第2次選考)	研究遂行能力と研究テーマの意義をみる。 (作品審査にかかる面接も含む。)
陶 磁	作品プレゼンテーション 及び口頭試問	陶磁制作・表現・デザインにおける研究テーマ、研究能力、研究意欲 を評価する。
	作品審査	
メディア映像	作品審査	これまでの活動実績と今後の研究テーマに対する意欲と実行性を評価 する。
	研究計画のプレゼンテーション 及び口頭試問	

■点数配分

領域	実技	作品 審査	面接	論文 審査	外国語 試験	論述 試験	作品プレゼンテーション 及び口頭試問	研究計画のプレゼンテーション 及び口頭試問	合 計
日 本 画	200	800		—	—	—	—	—	1,000
油画・版画	—	1,000		—	—	—	—	—	1,000
彫 刻	—	1,000		—	—	—	—	—	1,000
芸 術 学	—	—	100	300	300	300	—	—	1,000
デ ザ イン	下段参照※								
陶 磁	—	500	—	—	—	—	500	—	1,000
メディア映像	—	500	—	—	—	—	—	500	1,000

※

領域	第1次選考試験		第2次選考試験	
デ ザ イン	出願書類審査	計	作品審査及び面接	計
	1,000	1,000	1,000	1,000